

よこはまめいほうこうこう ねん へいせい ねん かながわけんりつこうこう こうめ  
横浜明朋高校は、2014年（平成26年）に神奈川県立高校2校目のフロンティアスク  
ルとして開校し、午前部・午後部からなる単位制による多部制定時制の課程普通科をそ  
の設置形態としています。豊かな自然に囲まれ、それでいて近代的な住環境の  
横浜港南台の地にあるため、横浜市内を中心に県内各地から生徒たちは通学していま  
す。

よこはまめいほうこうこう ひるま ていじせいこうこう せいとひとり がくしゅう しんろとう もくひょう  
横浜明朋高校は、昼間の定時制高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標  
の実現に応えるため、単位制の利点をいかした教育課程を編成し、生徒が将来にわた  
り自己実現を図れるよう、生徒が「わかった・できた・つながった」を実感できる  
教育活動に取り組んでいます。

かながわけんこうりつこうとうがっこうにゅうがくしゃせんぱつ ざいけんがいこくじんなどくべつほしゅう おこな  
また、神奈川県公立高等学校入学者選抜において在県外国人等特別募集を行って  
おり、外国につながるの生徒も多数在籍していて、まさに多文化共生を実現している  
学校でもあります。

ひょうじゆんじゆぎょうじかんすう ふん ごぜんぶ こうじ こうじ ごごぶ  
標準授業時間数は45分としており、午前部は1校時から4校時まで、午後部は3  
校時から6校時までのそれぞれ4時間授業を基本として、「ゆっくり・じっくり」学び  
ながら4年間での卒業を標準としています。

しかしながら、ぶかんへいしゅう せいど ごぜんぶ せいと こうじ じゆぎょう  
しかしながら、「部間併修」という制度、つまり午前部の生徒が5・6校時の授業を、  
午後部の生徒が1・2校時の授業をそれぞれ選択することにより、1年短い3年間で  
卒業する生徒も多くいます。

よこはまめいほうこうこう がくしゅう ぶかつどう ぶんかさい きゅうぎたいかい  
そして、横浜明朋高校では学習はもちろんのこと、部活動、文化祭や球技大会・  
百人一首大会などの学校行事、生徒会や委員会活動、あるいはボランティア活動、そ  
して校外研修や研修旅行など、さまざまな活動や時間を利用して、たくさんの経験を  
積みむことができます。そしてその中でコミュニケーション能力や協調性、自主性、  
課題解決能力など、これからの社会で生き抜くためのさまざまな力が身につくこと  
でしょう。

よこはまめいほうこうこう よこはまめいほうこうこう きょうしよくいん よ  
そのために、横浜明朋高校と横浜明朋高校のすべての教職員は、「かかわる、寄り  
添う、見守る」を大切にしながら、すべての生徒たちが将来の夢や希望を叶えるた  
めに必要な力を身につけられるよう、あらゆる面において全力でサポートしていきま  
す。

れいわ ねん がつ  
令和6年4月

よこはまめいほうこうとうがっこう  
横浜明朋高等学校  
こうちょう えのもと じょうじ  
校長 榎本 譲治